

平成 27 年度事業報告書

I 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 法人概要

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

この法人は、持続性可能な社会、すなわち低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため、市民・事業者・行政・教育機関と連携を強め、広く環境保全活動を推進することにより、環境に配慮した市民の自主的な行動による地域社会づくりに寄与することを目的とする。

(2) 概 況

ア 設立年月日

平成 13 年 2 月 14 日

イ 出捐金

金 50,000,000 円（全額京都市出捐）

ウ 実施事業

- (ア) 環境意識の普及，啓発に関する事業
- (イ) 環境情報の発信事業
- (ウ) 環境保全に関する調査，研究に関する事業
- (エ) 環境教育及び人材育成に関する事業
- (オ) 環境保全のための市民，事業者等との連携，支援に関する事業
- (カ) 環境意識の向上のための国際的な連携，支援に関する事業
- (キ) 環境保全活動に関する施設の管理運営
- (ク) その他，この法人の公益目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況（平成28年3月31日現在）

(1) 役員等の数

理事長 1人 専務理事 1人
理事 7人 監事 2人 評議員 12人

(2) 役員等名簿

ア 役員名簿

（敬称略・順不同）

役職	氏名	備考
理事長	高月 紘	京都大学名誉教授
専務理事	浅野 和子	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会事務局長
理事	杵本 育生	特定非営利活動法人環境市民代表理事
〃	田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク事務局長
〃	橋本 直子	株式会社 Hibana 代表取締役
〃	花田真理子	大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授
〃	久山喜久雄	フィールドソサイエティ代表
〃	水山 光春	京都教育大学教授
〃	松浦 卓也	京都市環境政策局地球温暖化対策室担当部長
監事	野村 克章	税理士
〃	三宅 英知	京都市環境政策局環境企画部長

イ 評議員名簿

（敬称略・順不同）

役職	氏名	備考
評議員	浅利 美鈴	京都大学環境科学センター助教
〃	市川 智史	滋賀大学環境総合研究センター教授
〃	土山希美枝	龍谷大学政策学部准教授
〃	中田富士男	京都市ごみ減量推進会議理事
〃	永橋 爲介	立命館大学産業社会学部教授
〃	長屋 博久	有限会社村田堂取締役
〃	原 強	特定非営利活動法人コンシューマーズ京都理事長

〃	岡田 寛子	株式会社京都銀行公務部長
〃	糸 善子	有限会社思風都代表取締役会長
〃	周 瑋生	立命館大学政策科学部教授
〃	田中 克	京都大学名誉教授
〃	下間 健之	京都市環境政策局地球温暖化対策室長

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

	開催日	審 議 事 項	結果
第 7 回	平成 27 年 5 月 2 日	<書面決議> 議第 1 号 評議員会の決議の省略について (案)	承認
第 8 回	平成 27 年 6 月 2 日	議第 1 号 平成 26 年度事業報告書 (案) について 議第 2 号 平成 26 年度決算報告書 (案) について 議第 3 号 理事の利益相反取引に係る承認 (案) について 議第 4 号 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等 (案) について	承認 承認 承認 承認
第 9 回	平成 27 年 11 月 18 日	議第 1 号 2016 年度～2025 年度中長期事業計画について (案) 議第 2 号 事業運営委員会及び理事会の今後について (案) 議第 3 号 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について (報告事項)	承認 継続
第 10 回	平成 28 年 3 月 25 日	議第 1 号 平成 28 年度事業計画書 (案) について 議第 2 号 平成 28 年度予算書 (案) について 議第 3 号 理事の利益相反取引に係る承認 (案) について 議第 4 号 事業運営委員会及び理事会の今後について (報告事項) 議第 5 号 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について (報告事項)	承認 承認 承認

(2) 評議員会

	開催日	審 議 事 項	結果
第 3 回	平成 27 年 5 月 9 日	< 書面決議 > 議第 1 号 理事 1 名選任について (案) 議第 2 号 評議員 1 名選任について (案)	承認 承認
第 4 回	平成 27 年 6 月 26 日	議第 1 号 平成 26 年度事業報告書 (報告) について 議第 2 号 平成 26 年度決算報告書 (案) について	承認

4 職員数の推移 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

年 度 末	理 事 長	専 務 理 事	総 務 課						事 業 課						合 計	
			事 務 局 長	課 長	課 長 補 佐	派 遣 職 員	事 務 職 員	小 計	部 長	課 長	課 長 補 佐	事 業 職 員	研 修 職 員	臨 時 職 員		小 計
27	1	1	(1)	(1)	1	0	2	3	1	1 (1)	2	7	2	2	15	20

※事務局長及び総務課長は、専務理事が事務取扱としている。また、事業課長のうち 1 名は、事業部長が事務取扱としている。事務取扱対象者には、()で表示をしている。

Ⅱ 平成 27 年度実施事業内容

1. 公益目的事業

[1] 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務

（1）いろいろな主体が学び、育つステージの提供

● 1-1 館内・館外の環境学習プログラムの開発、実践

ア プログラム対応・出前

団体見学では、京都市外の学校のほか、大学、環境NPO、地域団体、企業、行政視察など、国内外から様々な団体を受け入れ、環境学習の機会を提供しました。年間で団体見学は183件5,859名、センター学習は132件3,944名、合わせて315件9,803名の受け入れを行いました。また、センター学習の受け入れにあたり、環境ボランティアのスキルアップを図るためにプログラム研修を4回実施しました。さらに、出前授業では京都市内の小学校向けに4回実施しました。

イ プログラム開発/ちきゅまるひろば

小学4年生向けセンター学習「ごみへらし隊」をリニューアルし、学校での学習により活かせるようにしました。また、学校での環境教育を推進するために、京都市教育委員会と協働で全校種教職員を対象に環境教育研修講座を開催しました。さらに、日曜日・祝日（夏休み期間は毎日）にはスタッフによるミニプログラム「ちきゅまるひろば」を年間で89回開催し、733名が参加しました。それに合わせて平成27年度は新規プログラムの開発にも取り組みました。

ウ 環境副読本

小学4年生、5年生、中学生向けの3種類の環境学習に役立つ環境副読本を作成し、京都市内の全小中学校に配布しました。総合的な学習の時間はもちろん、各教科内で環境をテーマに学習する際に活用されています。また、小学5年生向けの環境副読本には、各テーマのインタビュー記事の掲載とあわせて、学習の補助教材として活用できるインタビュー動画を作成しました。

環境副読本インタビュー動画：<http://www.miyako-eco.jp/advice/>

エ 展示

エントランスを賑やかにすることを目的に、ハイムーン氏の環境マンガ「意識と行動」

を用いた展示「わかっちゃいるけどやめられない」を設置しました。また、環境ボランティアグループ展示部では、初めて来た来館者が館内の展示や屋上を見学したくなる仕掛けとして「エコセンサイコロ」展示を作成し、エントランスに設置しました。エコセンサイコロの指令にはブラックボックスの中身を当てるクイズもあり、来館者だけでも楽しめるように工夫しました。

オ 企画展示・関連イベント

パナソニック株式会社エコソリューションズ社、京都市環境政策局環境企画部環境管理課、京阪電気鉄道株式会社、京都府都市計画協会、株式会社野生復帰計画、NPO法人アクセスと共同主催で企画展を開催しました。また、夏休み期間には木をテーマに「エコ住宅素材展」、12月には「環境カレンダー原画展」を開催しました。2月からは環境ボランティアグループ展示部企画の「あそべる展」を開催し、遊びながら環境について学ぶ機会を提供することが出来ました。

開催期間	タイトル（共催の相手等）
7月24日～9月23日	「エコなかみしばい展」
4月29日～6月30日	公募型企画展「最新！スマートハウスの省エネ展」 （パナソニック株式会社 エコソリューションズ社）
6月1日～6月22日	公募型企画展「（第12回）京都環境賞受賞者の活動紹介パネル展示」 （京都市環境政策局環境企画部環境管理課）
7月24日～9月23日	「第12回エコ住宅素材展～木と私たちの住まい～」
8月5日～8月31日	公募型企画展「（第12回）京都環境賞受賞者の活動紹介パネル展示」 （京都市環境政策局環境企画部環境管理課）
8月8日～9月27日	公募型企画展「電車のエコを知ろう！」（京阪電気鉄道株式会社）
10月23日～11月30日	「エコメイト16期生募集コーナー」
11月10日～11月17日	共同主催型企画展「第31回京都まちとみどり写真コンクール入選作品展」 （京都府都市計画協会）
11月28日～1月31日	「いちばん新しいCOPのはなし&マンガで見る世界の国と温暖化展」
12月1日～12月19日	共同主催型企画展「鹿肉を食べよう！ジビエ肉を食べよう！～二酸化炭素排出抑制の視点から～」（株式会社野生復帰計画）
12月5日～12月20日	共同主催型企画展「もったいない！で国際協力」 （特定非営利活動法人アクセス－共生社会をめざす地球市民の会）
12月9日～1月31日	「環境カレンダー原画展～ひかりあればみどりあり～」
2月14日～4月13日	「あそべる展」

● 1-2 環境ボランティアの育成、支援

ア エコメイト養成講座

来館者とのコミュニケーションを図るために必要な知識、技術を習得することを目的とした講座で、センターの環境ボランティアとして活動するために、受講を必須としています。講座内容には、ボランティア活動の基礎、グループコミュニケーション、環境問題の基礎、環境学習プログラムの基礎・企画・実践等の座学及び実習があり、平成 27 年度は 12 月～3 月の間に計 6 回（7 日間）開催しました。（応募者 22 名、受講者 21 名、登録者 19 名）。

	開催日	タイトル
第 1 回	12 月 6 日	ボランティア事始め
第 2 回	12 月 19 日	学習・活動グループ運営きほんのき
第 3 回	1 月 17 日	環境問題きほんのき
第 4 回	1 月 30 日	環境学習きほんのき
第 5 回	2 月 13 日, 14 日	環境学習の場をつくり・まわすきほんのき
第 6 回	3 月 13 日	これからのエコメイト活動に向けて&登録説明会

イ ステップアップ研修

環境ボランティア活動がより充実したものとなるよう、活動年数に合わせて体系的に活動をする上で必要な知識や技術を習得することができる研修を企画・実施しています。平成 27 年度は、環境問題の知識を得るためのものや、効果的なコミュニケーションの取り方、環境学習プログラムの企画の方法など、様々なテーマで研修を 11 回実施し、その内 2 回は環境ボランティアだけでなく一般参加も可能なオープン講座として開催しました。

ウ マネジメント全般

環境ボランティアは、展示の案内・解説、環境学習プログラムやイベントの企画・実施を通じて環境に配慮した暮らしを来館者と一緒に考え、広める役割を担っています。そのような活動をより活発にするために、活動意欲の維持・向上（全体マネジメントの会）、活動における不安解消・課題解決（ボランティア全体ミーティング）等を行いました。また、ボランティア制度検討作業部会を実施し、平成 28 年度からのボランティア制度について見直しを行いました。

ボランティア部による交流会	8 月 30 日, 1 月 27 日, 3 月 26 日
全体マネジメントの会	4 月 6 日, 9 月 12 日, 3 月 20 日
ボランティア全体ミーティング	6 月 13 日, 10 月 11 日, 2 月 14 日

● 1-3 子どもから大人まで環境人づくり

ア えこそら屋上

屋上の田畑やビオトープを活用し、「自然や食の循環と暮らしとのつながり」を学ぶことができる場を作っています。定期的に草刈や池の管理作業や生物調査、記録を行い、その結果を元に案内板や生きものクイズを設置して、より多くの方に屋上を訪れてもらえるようにしました。また、小学1~4年生とその家族を対象とした通年プログラム「えこそらキッズ」や「生きもの探偵団」などのイベントを環境ボランティアと共に開催しました。

	開催日	タイトル
第1回	5月9日	オリエンテーション・緑のカーテン・夏野菜植付
第2回	5月30日	田植え・夏野菜植付・玉ねぎ収穫・かかし設計
第3回	6月27日	かかし作り・お世話・
第4回	7月11日	収穫・お世話・生きもの観察
第5回	8月1日	収穫・お世話・藍染
第6回	8月22日	収穫・冬野菜種まき・イチゴ苗世話
第7回	9月5日	緑のカーテン片づけ・お世話・冬野菜植付
第8回	10月3日	稲刈り・落花生収穫
第9回	10月24日	ゴマ収穫・芋ほり・世話・草刈
第10回	11月7日	世話・脱穀・もみすり
第11回	12月5日, 12日	クッキング
第12回	1月9日	食に関するゲーム・絵巻準備
第13回	1月30日	絵巻づくり・糸紡ぎ
第14回	2月13日	発表会・ふりかえり・修了式

イ 環境教育リーダースタートアップ講座

環境教育実践の担い手を育てるために全6回の連続講座を実施し、16名の修了生を輩出しました。平成27年度は「子どもと関わる大人」を対象に、子ども向け環境教育のノウハウについて学べるよう、自然体験やまち歩き、環境学習プログラムづくりなどをテーマに、講義だけでなく体験やワークショップなどをまじえた実践的な講座内容としました。事後アンケートでは、7割の受講生が環境教育に対するスキルが向上したと回答しました。

ウ 自然エネルギー学校・京都 2015

地域における自然エネルギー普及につながる人材育成とネットワークづくりを目的に、座学やワークショップ、先進地視察を取り入れた、全4回の講座を開催しました。特に平成27年度は、FIT制度の改正に合わせ、太陽光発電だけにとどまらず、小水力やバ

イオマス発電にもテーマを広げた内容としました。受講生同士のつながりが生まれているほか、過去の受講生が各地で自然エネルギー普及に関わる事例が生まれてきています。

※F I T：再生可能エネルギー固定価格買取制度

エ 大学生インターンシップ受け入れ

インターンシップでは、大学生 2 名を受け入れました。夏休み期間を中心に、来館者対応やイベントのサポート、ちきゅまるひろばの企画・実施など、センターの様々な業務を行いました。また、京都市環境基本計画改定に向けた意見募集のための市民向けワークショップにスタッフとして参加し、グループファシリテーターを務めました。こうした体験を通して、環境教育やファシリテーションなど様々な知識とスキルを身につけた人材を育成しました。

オ かえっこバザール

おもちゃの交換会「かえっこバザール」を年間 5 回開催しました。平成 27 年度は子どもスタッフ用の名札を活用し、リピート参加している子どもたちをスタッフが把握出来るように工夫をしました。また、京エコロジーセンターの魅力をより知ってもらえるように館内見学ツアーや紙芝居の読み聞かせなど、スタッフによるオリジナルプログラムを毎回実施しました。9 月には、京都市市民防災センターで開催された「イザ！カエルキャラバン」の運営協力も行いました。

開催日	参加人数
6 月 7 日	198 名
8 月 15 日	128 名
8 月 16 日	125 名
12 月 6 日	133 名
2 月 11 日	179 名

カ 職場体験受入

京都市教育委員会による「生き方探究・チャレンジ体験」の受け入れを行いました。平成 27 年度は 5 校 16 名の生徒を受け入れました。これまでの体験内容をまとめた資料「職場体験内容一覧」を作成し、教員との事前打ち合わせや、生徒の事前訪問時にも活用しました。さらに、生徒が希望する活動を追加するなど、充実した体験となるように工夫しました。また、環境ボランティアにインタビューするなど、人との関わりも意識した内容を実施しました。

実施校	受入期間 ※木曜除く	受入人数
洛南中学校	5月19日～5月22日	4名
栗陵中学校	5月26日～5月27日	4名
藤森中学校	11月4日～11月6日	4名
深草中学校	11月10日～11月11日	3名
伏見中学校	1月26日～1月28日	1名

(2) いろいろな主体による環境保全活動への支援と連携

● 2-1 地域コミュニティにおける環境保全活動支援・連携

ア 地域コミュニティにおける環境保全活動支援・連携

地域の団体が環境をテーマに活動を行う際、京エコサポーターを中心に環境学習プログラムを実施することで、地域の環境活動を支援しています。平成27年度は、省エネ・ごみの減量に関する講座形式のプログラム、発電の仕組みを体験できるブース出展形式のプログラムを実施しました。その中で、述べ78名の京エコサポーターが、3回の学習会、20回のブース出展を企画・実施することができました（※「エコ学区事業」含む）。

● 2-2 NPOをはじめとする環境保全活動団体への支援・連携

ア NPOをはじめとする環境保全活動団体への支援・連携

京都における環境保全活動の活性化をはかることを目的に、『連続セミナー：「共感」を「参加」に！広報・ファンドレイジングセミナー』（計3回）を実施しました。これまでにセンターが実施する助成を受けて活動してきた各種環境団体や、センターの環境ボランティア「エコメイト」修了生等を対象に、それぞれの地域等で自立的に環境活動をすすめる上で直面する「人集め」・「資金集め」の課題を解決するためのヒントを提供する場となりました。

(3) 持続可能な地域社会への提案、情報発信と交流

● 3-1 情報発信・広報対策

ア 図書事業

図書コーナーでは、約7,000点の資料（図書・雑誌・視聴覚資料等）を通じて、環境問題や環境学習に関する情報を発信しています。平成27年度の利用状況は、資料の貸出が2,215冊、ビデオ・DVDの利用が1,739名、新規図書利用者カード登録者が156名でした。また、図書コーナーの認知を高めるため、ボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞かせを行う「ほん・で・おはなし会」や、除籍資料を市民の方に譲渡する「ほん・で・リング」を開催し、図書コーナーの認知度向上を図りました。

イ エコセン通い帳

ボランティアや職員との関わりを通じて、センターの展示やエコへの学びが深まることを目的とした「エコセン通い帳」を運用しています。「チャレンジカード」に書かれたエコなクイズや指令をクリアするとスタンプがもらえ、スタンプが集まるとプレゼントや「エコの達人認定証」がもらえる仕組みです。楽しくエコを学びながら継続的な来館を促すツールとして、リピーター（ファン）の増加につながっています。平成 27 年度は累計で 3,500 名を超える参加がありました。

- ・平成 27 年度に通い帳を通じて 10 回以上エコセンに通った来館者に発行する「エコの達人認定証」の年間発行部数：51 名 102 枚

ウ 広報・プロモーション

ホームページやブログ、ソーシャルメディア（Facebook, twitter）を連動させ、イベント等は外部のお出かけ情報サイト等も積極的に活用し、情報発信を行っています。また、今年度は定期的なプレスリリースを意識して行い、地元新聞社をはじめ、様々なメディアにセンターについての記事が掲載されました。

これまでの広報プロモーションでは、イベントが中心でしたが、少しずつセンター他事業の PR も意識して行えるようになってきています。

- ・市政記者クラブ等へのプレスリリース配信…11 回
- ・新聞社等取材・掲載実績（紙媒体）…12 件以上

エ 季刊誌「えこせん」

季刊誌「えこせん」を隔月で年 6 回（毎号 3,000 部）発行しました。コンセプト「京のくらしと人とエコ」に合わせ、センターの各事業との連動を意識した特集を組むなど、「えこせん」を通じてより魅力的な情報発信ができるよう取り組みました。リニューアルから 3 年がたち、読者からのお便りも増え、「えこせん」を通じた交流もできるようになってきました。メインターゲットである親子層がよく訪れる市内の施設や大型書店等、新たな配架先も増えました。

発行月	特集 1（人物取材）	特集 2 季節に合わせたエコライフの提案
No. 37（6 月号）	建築士 中村文紀氏	あま〜い和菓子と季節の行事を楽しもう
No. 38（8 月号）	発酵食堂カモシカ 店主・関恵氏	今、あらためて考える 私たちの暮らしとエネルギー
No. 39（10 月号）	衣料品再生プロジェクト Re:（リコロ） 伊豆蔵直人氏	使ってみませんか？ 風呂敷と手ぬぐい
No. 40（12 月号）	ごはんばん工房つつぶ 店主・永田美恵子氏	温めるだけでこの美味しさ 保温調理を活用しよう

No. 41 (2月号)	理想の森プロジェクト 森綾子氏	知っていますか？ ニッポンの食料自給率
No. 42 (4月号)	そうげんプロカント オーナー・小泉攝氏	新生活スタート 家族でエコ目標を！

オ 広報物の発行

毎月のイベント情報を掲載した「えこいべ」をセンターや市内の公共施設などに配架しているほか、夏休みは小学生向けのイベント情報を掲載した「やってみよう！かぞくでエコ体験」を発行し、市内小学校への配布や私鉄沿線各駅への配架を行いました。また、大型イベントの告知では、市内全域に2週間掲示されるポスターを発行するなど、イベント情報を広く一般に周知するため、イベントごとに合わせた広報物の作成と発行を行いました。

- ・ イベント情報紙「えこいべ」：毎月約3,500部発行。
- ・ 夏休みイベントチラシ「やってみよう！かぞくでエコ体験」：22,200部発行。市内小学校等24校に配布。
- ・ 市政広報ポスター：4月、11月に各10,800部発行。

● 3-2 イベント（プログラム）の企画と実施

ア イベント企画・実施

参加者が環境問題の現状を知り、暮らしの中で実践するきっかけとなる、多様な切り口によるイベントをパートナーシップで企画・実施しました。平成27年度は、「竹」「布や繊維」「生物多様性」「木のおもちゃと森林」をテーマとした大型イベントを年間で4企画開催し、たくさんの方にご参加いただきました。また、今まで多かった無関心者層を意識したイベントだけでなく、次へのステップにつながるような連続イベントも企画し、参加者から好評を得ました。

- ・ 平成27年度3-2 イベント事業総参加者数：8,922名
- ・ 平成27年度3-2 イベント事業件数：企画数42（うち、大型イベントの開催は4企画）

実施件数125

開催日	事業名	講師	参加人数
4月19日	京エコロジーセンター開館13周年&アースデイ記念イベント「遊んで学ぼう♪竹ひろば」	出展協力：7団体（12ブース）	2,212名
5月16日	エコマートでお買い物～環境にやさしい買い物を考えよう！～	センターボランティアグループイベント部	38名
5月31日	見て！触って！食べて！はちみつのはちみつ	ハニーコンシェルジュ 比嘉彩夏氏	40名

6月7日	みどりのカーテン講習会～ヨルガオ・セイ ヨウアサガオ・ゴーヤ編～	共同主催：公益財団法人京都市都市緑化協会 京都市地球温暖化対策室	59名
6月14日	バラの花びらでジャムづくり	おくだやすひこ氏（おくだばらえん）	48名
6月28日	自然の力で染めてみよう！	上田寿一氏（大原工房）	48名
7月26日	紙芝居屋さんがやってくる！	西本育子氏（志滋海中）	53名
7月28日	LEDランプで行灯を作ろう！	パナソニック株式会社エコソリューションズ社	71名
7月30日	エコ紙芝居ひろば★全員集合！	センターボランティアグループイベント部	25名
7月31日	子どもクッキング教室～自分でつくるカン タンごはん～	栄養管理士 鎌田早紀子氏	25名
8月2日	木のイスを作ろう！	京都木材青年経営者協議会	76名
8月3日	京漬物のお話とぬか床づくり体験	京都府漬物協同組合青年部会	24名
8月4日	紙すき体験～紙パックから絵はがきづくり ～	共同主催：宝酒造株式会社	50名
8月6日	エコ紙芝居ひろば★全員集合！	センターボランティアグループイベント部	14名
8月8日	「ひらけ～ごま！」のおはなし	株式会社山田製油	28名
8月8日	電車のエコを知ろう！クイズ de 京阪&制服 で「ハイ、チーズ」	京阪電気鉄道株式会社	112名
8月9日	人形劇3Rエコシアター 「森のたんけんたい」	人形劇団クラルテ	115名
8月10日	葉っぱや草花でしおりづくり	名神深草森の会	96名
8月12日	エコ紙芝居ひろば★全員集合！	センターボランティアグループイベント部	32名
8月20日	エコ紙芝居ひろば★全員集合！	センターボランティアグループイベント部	7名
9月8日	からだにやさしい陰陽調和の重ね煮クッキ ング	養生家庭料理研究家 梅崎和子氏	12名
9月13日	うんこはごちそう～僕らは地球と共に生き ている～講演会～	糞土師 伊沢正名氏	24名
9月13日	うんこはごちそう～僕らは地球と共に生き ている～野外講座～	糞土師 伊沢正名氏	17名
9月25日	からだにやさしい陰陽調和の重ね煮クッキ ング	養生家庭料理研究家 梅崎和子氏	17名
10月9日	旬の京野菜でおうちフレンチに挑戦！	料理研究家 杉本節子氏	16名
10月25日	3R推進月間イベント「布フェス in 京都～ 布ってこんなに〇〇だ！」	共同主催：京都市ごみ減量推進会議, 出展協力：23団体（32ブース）	894名
11月23日	秋のエコセン映画会 「千年の一滴だししょうゆ」	自主上映	38名

11月29日	COP21 開催記念イベント 「発見！体験！生きものの環」	出展協力：11 団体（18 ブース）	897 名
12月16日	素材を生かしてひと工夫！季節のお料理教室	料理研究家 力石さち氏	14 名
12月19日	分け分け大作戦！エコ・紙・ステーション	センターボランティアグループイベント部	26 名
12月20日	素材を生かしてひと工夫！季節のお料理教室	料理研究家 力石さち氏	18 名
12月23日	幸せのおすそ分け，チョコボックスをつくらう！	共同主催：認定 NPO 法人テラルネッサンス	8 名
1月16日	分け分け大作戦！エコ・紙・ステーション	センターボランティアグループイベント部	38 名
1月17日	ていねいに暮らしを創る① 一本の糸から紡ぎだすもの	大石尚子氏	20 名
1月24日	茶かぶきでお茶の時間を楽しもう	2 1 お茶のふるさと塾	44 名
1月31日	ていねいに暮らしを創る② 命は命で元気になる	関恵氏（発酵食堂カモシカ）	17 名
2月6日	おうちで挑戦！毎日食べたい味噌づくり	管理栄養士 鎌田早紀子氏	54 名
2月7日	ていねいに暮らしを創る③ 街中自給自足暮らし	畑明宏氏	19 名
2月21日	ていねいに暮らしを創る④ はたらきながらまなびあそぶ	モモクリエイティブ	17 名
2月27日 2月28日	木のおもちゃで遊ぼう！ 木育キャラバン in 京都	協力：NPO 法人日本グット・トイ委員会，東京おもちゃ美術館，出展協力：2 団体（2 ブース）	3,523 名
3月5日	農家さんに学ぼう！ おいしいお米のクッキング	農業生産法人 有限会社かみなか農楽舎	20 名
3月6日	分け分け大作戦！エコ・紙・ステーション	センターボランティアグループイベント部	16 名

【2】 受託事業

（1）エコ学区に係る学習会等支援業務

京都市との協働により，元学区を単位とする地域コミュニティにおけるエコ活動を促進することにより，ライフスタイルの転換と増加傾向にある家庭部門での温室効果ガス排出量削減を地域ぐるみで効果的に実現するため，地域活動にエコの視点を加え，各学区におけるエコ活動が円滑に進むよう，地域に地球温暖化対策をはじめとするエコロジーに関する知識やエコ活動に関する知恵等を提供しました。

- ・エコ学区に係る相談窓口業務

京エコロジーセンター活動支援室に「エコ学区サポートセンター」を開設し、(平日 10 時～18 時) 地域ぐるみのエコ活動についてのワンストップサービスの相談窓口として対応しました。エコ学区として宣言した 200 学区に対し、支援物品の企画・調達・配布、学習会等の実施などで地域ぐるみのエコ活動を促進しました。

1 年間で計 300 回を超える学区へのヒアリングやエコ活動の現場取材、地域への直接アプローチを行うなど、ニーズに合わせ迅速に対応しました。

- ・学習会実施

計 46 回実施し、2,516 名参加 (大人 1,081 名・子ども 1,435 名) しました。

- ・エコ学区チャレンジプログラム

公募により 5 学区に対し「創エネ」「エコ×防災」など多様な連続プログラムを実施しました。

- ・環境情報の発信

学習会実施時に、季刊誌「えこせん」を配布するとともに、京エコロジーセンター事業では普段接点のない無関心者層への環境情報の発信を行いました。

- ・京都環境賞のエコ学区部門への対応

京都市とともに、各区役所・支所におけるエコ学区推進賞の内申を行いました。

(2) 市民協働発電制度地域コミュニティ版支援コーディネーター派遣業務

京都市との協働により、地域のコミュニティ組織が主体となり、地域に太陽光発電や小水力発電など再生可能エネルギー利用設備を設置しようとする意欲的な取組を支援するため、地域住民の合意形成をはじめ、再生可能エネルギーを活用した発電事業に関する調査や事業化の検討等を行うコーディネーターを 5 地域に 11 回派遣しました。

(3) JICA 課題別研修「廃棄物管理能力向上 (応用, 計画・政策編)」

JICA 関西の実施する課題別研修「廃棄物管理能力向上 (応用, 計画・政策編)」を受託し、研修内容の企画及びコーディネートをしました。7 ヶ国 10 名の、それぞれ国で政府や地方行政等で廃棄物管理に関わる研修員を受け入れ、2 ヶ月間の研修を行いました。各研修員の国で直面している廃棄物管理に関する課題の解決のヒントとなる講義や視察、実習等を行い、協会の強みとする市民への環境意識啓発や地域コミュニティ等をはじめとした市民参画による環境活動支援のノウハウも研修に盛り込みました。

(4) JICA日系研修「(都市型)環境教育指導者」

JICAの実施する日系研修受入事業に「環境教育指導者」を養成する研修コースを提案し、企画・実施しました。ブラジル、パラグアイより各1名の研修員を受け入れ、約6週間の研修を行いました。それぞれのフィールドで環境教育を実践していくために必要な基礎知識や技術を得ることを目的に、講義や視察、京エコロジーセンターでのOJTを通じた環境教育実践を行いました。

(5) JICA草の根技術協力事業「低炭素社会実現に向けた人・コミュニティづくりプロジェクト」(マレーシア)

JICAの実施する草の根技術協力事業にマレーシアでの「低炭素社会実現に向けた人・コミュニティづくりプロジェクト」を提案し、採択され、平成28年2月よりプロジェクトを開始しました。イスカンダル開発地域における低炭素社会づくりに向けた小学校での環境教育の実施と質の向上、セカンダリースクールでの環境教育プログラムの開発と実施、地域コミュニティの住民を巻き込んだ環境保全活動の支援の仕組みづくりをプロジェクトの大きな柱とし、日本に関係者を招聘して行う研修と現地への専門家派遣を行いました。

(6) 電気自動車の普及・啓発のための充電設備管理業務

CO₂の削減と低炭素社会の実現に向けて電気自動車の普及促進を図るため、充電設備の利用で来館した市民に対し、操作方法の説明を行いました。

[3] 自主事業

(1) 森林・山村多面的機能発揮対策事業

林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を受け、京都市右京区嵯峨越畑の森林を活用した、親子向け森林環境教育イベントを2回実施しました。イベントでは、間伐体験や工作の他、間伐材を燃料とした地元の野菜や鹿肉を使った調理などを行いました。森林の現状や、森と人や野生生物との関わりについて、都市部に住む人が体験を通して学ぶと共に、地域の方と交流する機会を作ることができました。

開催日	タイトル/内容	参加人数
9月6日	ひととき森の楽校プレイベント ～森のアースオープン作り ワークショップ～ 内容：地元の土や石を使った窯作り ※エコ学区事業に係る学習会等支援事業として実施	20名
10月4日	ひととき森の楽校 ～木こり体験&クラフト～ 内容：間伐体験と間伐材や蔓を使った工作，地元のお米や野菜を使った調理。	14名
11月3日	ひととき森の楽校 ～木こり体験&ジビエ料理に挑戦！～ 内容：間伐体験と薪作り，森と狩猟の話，地元のお米や野菜とアースオープンを使っの鹿肉の調理。	25名

(2) 京都教育大学授業

京都教育大学の夏季集中講座「環境教育の実践-環境ファシリテーター入門-」（全5日間）を企画運営しました。講座は環境教育概論，環境学習プログラムの作り方，プログラム実施のための効果的なコミュニケーション手法について，講義と実習を通して体系立てて学べる内容としました。最終日には公開演習として，受講生が作成した環境学習プログラムをセンターの来館者を対象に実施しました。平成27年度は京都教育大学生4名が受講しました。

(3) 京都・環境教育ミーティング

「京都・環境教育ミーティング番外編 次へつなぐワークショップ」と題して，ワークショップを開催しました。環境教育の成果・効果をはかる評価の仕組み，自然系環境教育の最先端，ESDやアクティブラーニングと環境教育の関わりなどをテーマに，実行有志から環境教育の成果や課題について話題提供したのち，参加者全員で環境教育は社会を変えたのか，社会を変えられるのかについて議論するなど，環境教育について改めて考える場をつくりました。

(4) 出前講座・講師派遣

出前授業・講師派遣事業では，セミナーやシンポジウムへ職員を派遣し，環境学習施設運営や市民参画・ボランティアコーディネーションについて講演や事例発表を行いました。また，依頼元の要望にあわせた出前授業やワークショップを企画実施するなど，京エコロジーセンターの管理運營業務で培った様々なノウハウを広く発信するとともに，他団体による環境活動を支援しました。平成27年度は10件実施しました。

実施日	事業名	主催
6月6日	グリーンカーテン講習会への講師派遣	上鳥羽北部いきいき市民活動センター
7月29日	夏休みエコ教室「わくわく親子エコ工作教室～ソーラーメロディハウスをつくろう～」への講師派遣	京都生協北ブロックほっこりコミュニティ
8月15日	ふるさと創生塾への講師派遣	公益財団法人兵庫県生きがい創造協会
8月22日 8月29日	京都市環境基本計画改定に係る市民ワークショップの企画・当日進行	京都市環境政策局環境企画部環境総務課
9月5日	深草まるごとつながりネットワークでのトークセッションでの事例発表	京都市伏見区役所深草支所地域力推進室
2月28日	大東市立歴史民俗資料館 企画展関連事業「かえっこバザール」への講師派遣	大東市立歴史民俗資料館
2月29日	豊田市環境学習施設への講師派遣	NPO法人とよたエコ人プロジェクト
3月4日	「環境教育フェスタ」～ESD(いいね, それなら, できる)を目指して～における事例発表	公益社団法人日本環境教育フォーラム
3月14日	地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)国内成果報告会「アジア低炭素社会シナリオの開発とその実践に向けたESD国際交流」, 「アジア低炭素社会の実現に向けた教育啓発の取り組み～ESDの観点から～」での事例発表	国立環境研究所, 京都大学, 岡山大学
3月30日	The 3rd CITC Regional Conference on Climate Change and Sustainable Development: “How to Accelerate Climate Actions in Asia through Capacity Building and Climate Finance”でのパネルディスカッション “Capacity building and awareness raising as key success factors to achieve SDGs and Paris Agreement in Asia”での事例発表及びパネラー参加	タイ温室効果ガス管理機構(TGO), 気候変動国際研修センター(CITC)

2. 収益事業

[1] 貸出スペースの活用

(1) 利用状況

センターでは、会議室等の貸し出しを行っており、利用できるスペースは会議室 2、視聴覚室(シアター)、リサイクル工房(実習室A)、エコ厨房(実習室B)が各 1 となっています。貸出スペースの認知度を上げるためにパンフレットや季刊誌「えこせん」等の効果的な広報等に取り組み、利用者数、利用率の向上に取り組みました。

利用回数	利用者数	使用料金合計
440 回	4,894 名	1,081,300 円

※使用料金は全額京都市の収入となります。

Ⅲ 附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年5月

公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会

～一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（抄）～

第34条 事業報告

3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。